

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 イハラサイエンス株式会社

コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野琢雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統轄室長

(氏名) 十亀 猛

TEL 03-6721-6988

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,544	3.7	314	△1.4	306	2.8	196	14.5
26年3月期第1四半期	2,453	△1.7	318	2.5	297	4.0	171	△4.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 243百万円 (35.6%) 26年3月期第1四半期 179百万円 (0.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	16.68	—
26年3月期第1四半期	14.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	14,322	9,936	69.4	844.08
26年3月期	14,472	9,928	68.6	843.36

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 9,936百万円 26年3月期 9,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	20.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	10.9	855	17.1	850	17.4	530	20.1	45.34
通期	12,000	11.1	2,010	16.9	2,000	17.0	1,250	19.3	106.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) イハラパイピングサービス株式会社
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	14,000,000 株	26年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,227,536 株	26年3月期	2,227,516 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	11,772,479 株	26年3月期1Q	11,681,319 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想等の将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では企業業績や失業率の改善が進み、また、欧州景気が底入れするなど、緩やかな景気回復に向かいました。わが国では、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動により個人消費がやや落ち込んだものの、世界的な株高や円相場の落ち着きに加え、政府主導の景気対策や堅調な企業業績が下支えとなり、景気は緩やかな回復基調となっております。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、お客様の信頼と期待を獲得するため、社員一人一人が自分の責任を果たし、品質、スピード、実行にこだわり、グローバルな競争の中で、さまざまなお客様の問題を解決し、お客様からありがとうと感謝される体制作りを進めてまいります。

販売面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要が堅調に推移しており、前年同期の売上高をやや上回る結果となりました。しかしながら半導体、液晶製造装置関連市場におきましては設備投資に陰りが見え始め、市況が低迷し受注も減少基調にあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は25億44百万円（前年同期比3.7%増）となり、営業利益は3億14百万円（同1.4%減）、経常利益は3億6百万円（同2.8%増）、四半期純利益は1億96百万円（同14.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

(静岡事業所)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、受注が前年並みに戻ってきたため、売上高は4億41百万円（前年同期比0.4%増）となり、セグメント利益は65百万円（同37.5%減）となりました。

(岐阜事業所)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しており、重点市場である産業機械・工作機械市場向けは、需要が回復基調にあり、売上高は10億67百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は3億76百万円（同6.3%減）となりました。

(山形事業所)

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、需要は持ち直しの動きにありますが、前年同期には及ばず、売上高は7億37百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は1億77百万円（同20.3%減）となりました。

(IPEC岐阜事業所)

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、需要は持ち直しの動きにありますが工事売上が減少したため、前年同期には及ばず、売上高は2億41百万円（前年同期比22.5%減）、セグメント利益は41百万円（同35.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少し、143億22百万円となりました。これは、繰延税金資産が46百万円増加したこと、投資有価証券が3億85百万円増加した反面、受取手形及び売掛金が2億94百万円減少したこと、現金及び預金が2億30百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少し、43億85百万円となりました。これは、主に未払法人税等が2億30百万円減少したこと、長期借入金金が87百万円減少したこと、賞与引当金が2億1百万円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、99億36百万円となりました。これは、四半期純利益1億96百万円と配当金支払い2億35百万円により、剰余金が39百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が44百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったイハラパイピングサービス株式会社は、平成26年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により解散しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,717	3,487
受取手形及び売掛金	3,428	3,133
商品及び製品	348	383
仕掛品	393	359
原材料及び貯蔵品	718	735
繰延税金資産	82	144
その他	215	159
流動資産合計	8,905	8,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,501	1,491
機械装置及び運搬具(純額)	496	475
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	113	124
その他(純額)	44	41
有形固定資産合計	3,577	3,553
無形固定資産		
	108	111
投資その他の資産		
投資有価証券	1,290	1,675
長期貸付金	2	1
生命保険積立金	62	63
繰延税金資産	485	470
その他	42	42
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,881	2,252
固定資産合計	5,567	5,918
資産合計	14,472	14,322

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	453	433
1年内償還予定の社債	50	50
短期借入金	363	348
未払金	390	354
未払法人税等	413	182
賞与引当金	—	201
役員賞与引当金	22	—
その他	130	167
流動負債合計	1,821	1,737
固定負債		
長期借入金	893	806
退職給付に係る負債	1,423	1,450
役員退職慰労引当金	185	176
資産除去債務	54	54
長期預り保証金	166	159
固定負債合計	2,722	2,647
負債合計	4,544	4,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	9,384	9,344
自己株式	△1,674	△1,674
株主資本合計	9,892	9,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	50
為替換算調整勘定	30	33
その他の包括利益累計額合計	36	83
純資産合計	9,928	9,936
負債純資産合計	14,472	14,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,453	2,544
売上原価	1,705	1,788
売上総利益	747	755
販売費及び一般管理費	429	441
営業利益	318	314
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	2
為替差益	20	—
複合金融商品評価益	—	17
その他	1	6
営業外収益合計	22	26
営業外費用		
支払利息	4	2
為替差損	—	1
売上債権売却損	3	1
売上割引	0	0
持分法による投資損失	13	25
複合金融商品評価損	18	—
その他	3	3
営業外費用合計	43	34
経常利益	297	306
税金等調整前四半期純利益	297	306
法人税、住民税及び事業税	188	180
法人税等調整額	△61	△70
法人税等合計	126	109
少数株主損益調整前四半期純利益	171	196
四半期純利益	171	196

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	171	196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	44
持分法適用会社に対する持分相当額	8	2
その他の包括利益合計	8	47
四半期包括利益	179	243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179	243

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	403	889	718	300	2,311	141	2,453
セグメント間の内部売上 高又は振替高	36	109	39	11	196	0	197
計	439	998	757	312	2,508	142	2,650
セグメント利益	104	402	222	64	794	35	830

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	794
「その他」の区分の利益	35
セグメント間取引消去	△128
全社費用(注)	△384
棚卸資産の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	318

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	440	1,067	737	241	2,487	57	2,544
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	0	—	—	0	—	0
計	441	1,067	737	241	2,488	57	2,545
セグメント利益	65	376	177	41	661	18	679

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	661
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去	58
全社費用(注)	△418
棚卸資産の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	314

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。